





経過	入院日(/)	術前日(/)	手術日(/)		術翌日	術後2日~4日目	術後5日目	術後6日~8日目	退院日
			術前	術後					
 <p>入院や手術に関して不安があれば、遠慮なく相談してください</p>		<p>検査データを確認しながら、手術へむけて準備を行います。術前準備を行います</p>	()時に手術室へ移動します	術後は病室にもどります	水分開始になります	食事開始になります			退院
目標			<p>手術室へ行くまでの流れ</p> <p>□麻酔科医師の指示の内服薬があれば、服用してください</p> <p>□前あきの下着、病院のジャマに着替えてください</p> <p>□弾性ストッキングをはいてください(看護師が用意します)</p> <p>□義歯、めがね、時計、指輪などを外して下さい</p> <p>□貴重品は、ご家族の方へお渡しください</p> <p>□女性の方は、化粧やマニキュアを落としてください</p> <p>□髪の長い方は2つに結び、ヘアピンは外して下さい</p>	<p>手術からお部屋に戻ったら、3時間ごとに検温します</p> <p>痛いときは、がまんせずに教えて下さい</p> <p>点滴</p> <p>酸素吸入</p> <p>心電図モニター</p>	<p>ベッド上でも、できるだけ動くようにしましょう。日常生活もリハビリの一部です</p> <p>安全にリハビリをすすめましょう。食事の摂取方法を覚えましょう</p>		安全に、日常生活のリズムを戻していきましょう		
検査	手術に必要な検査をします	手術に必要な検査をします			採血 レントゲン (お部屋でとります)	必要に応じて採血 レントゲン			
処置	<p>術前々日の流れ</p> <p>□点滴</p> <p>□14時 下剤の服用</p> <p>心配なときは、ポータブルトイレを用意します</p>	<p>術前日の流れ</p> <p>□おへその掃除をします</p> <p>□入浴</p> <p>□肩に名前を書きます(医師)</p> <p>□点滴</p>		<p>立ちましょう 足踏みしましょう</p> <p>どんどん歩きましょう</p> <p>初めて歩行する時は、看護師が付き添います 術後早期に歩き始めた方が、回復も早くなります</p>	<p>酸素が終了します</p> <p>心電図モニターが外れます</p> <p>鼻から入っている管が抜けます</p> <p>状態に応じて尿管が抜けます</p>	<p>痛み止めの管が抜けます</p> <p>創部の管が抜けます</p>	<p>点滴が終了します</p>	<p>以下の症状があるときは受診日以外でも来院してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 腹痛がひどい時 排便、排ガスがなく、お腹の張りが続いている時 嘔吐が続き、吐き気がひどい時 黒い便が出た時 高熱が出たり微熱が何日も続くような時 <p>わからない点、疑問点がありましたら、何でも医師や看護師にご相談ください。</p> <p>定期受診は忘れずに行なうようにしましょう。</p> 	
注射	点滴	点滴							
内服	薬剤師と看護師が、内服薬を確認します								薬は正しく服用し、必ず指示通りに内服して下さい。緩下剤の内服については、便の回数や性状を見て調節して下さい。心配なときは医師に相談して下さい。
食事	術前々日から絶食、水分・内	月 日 時~絶食							職場復帰、旅行などは、医師に相談して下さい
清潔行動	活動、入浴に制限はありません		<p>足の指背屈運動を行って下さい 血栓予防になります</p> <p>つま先を顔の方へ向ける つま先を伸ばす</p>	<p>病棟を離れるときは、看護師にお知らせ下さい。</p>	<p>シャワー浴ができるまで、体拭きをお手伝いします。</p>	<p>食事を摂取しない間も、口中は清潔にしましょう</p>	<p>シャワーの時は、きずの部分をごすらすらに、シャワーで流すようにしましょう</p>	<p>入浴のときは… 熱いお湯は体の疲労を伴います。長湯にならないようにしましょう。</p>	
説明	病棟での日常生活を説明します	麻酔科医師と、手術室の看護師の訪問があります			<p>鼻の管が抜けたら、水分摂取が可能になります</p> <p>最初は、ジュースや牛乳ではなく、水やお茶をおすすめします</p>	<p>食事は手術後3日目から予定しています。食べ過ぎないように注意してください。よく噛んで食べて下さい。</p>			<p>□次回予約票が渡されます</p> <p>□リフトを外します</p>
腸の手術方へ入れられる	<p>呼吸訓練を行ってください</p> <p>必ず禁煙してください</p>		<p>腸には、食品の栄養分が吸収された後の残渣物から水分を吸収し、便を作る動きがあります。手術によって腸が短くなり、腸の中に残渣物が留まる時間が短くなったため、下痢に傾いたり便秘に傾いたり、排便の調節が難しくなっています。</p> <p>腸閉塞が起きやすい状態になっていますので、食生活に十分に気をつけて、排便調節をしていく必要があります。</p>	<p>食事について…</p> <p>偏食をさけ、バランスのとれた食事を心がけて下さい。</p> <p>以下の食べ物は、控えるかよく噛んで食べて下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> 熱すぎたり、冷たすぎたりする食べ物 刺激の強い食べ物…香辛料・わさびなど 消化の悪い食べ物…イカ・たこ・するめ・キノコ類・海藻類など その他 下痢になりやすい食べ物…冷たい牛乳・天ぷら類・アルコール・アイスクリームなど 	<p>便秘のときは…</p> <ul style="list-style-type: none"> 腹部「の」の字を描くようにマッサージする。 水分を多めにとり、食物繊維の多い食品をとる。食物繊維の多い食品→パン・玄米・豆・芋類・果物・バナナなど 下剤の乱用は慎む。 	<p>下痢になったときは…</p> <ul style="list-style-type: none"> 腹部の保温(腹巻き・ほっかいろう使用) 脱水になりやすいので、水分を補給する 暖かい消化の良い食べ物を摂取する。(お粥・煮込みうどん・葛湯・ヨーグルトなど) 以前より下痢を起しやすかった食べ物は、術後も控える。 下痢止めの薬の乱用は慎む 			

注1) 病名は現時点で考えられるものであり、今後の検査等を進めていくにしたがって変わり得るものです。

注2) 入院期間については現時点で予想されるものです。

特別な栄養管理の必要性

有 無

上記内容について説明を受け同意いたしました

署名: _____ 続柄: _____